

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成16年>>

<週報> 第5週 (平成16年 1月26日 ~ 2月1日)

発行日: 平成16年2月3日

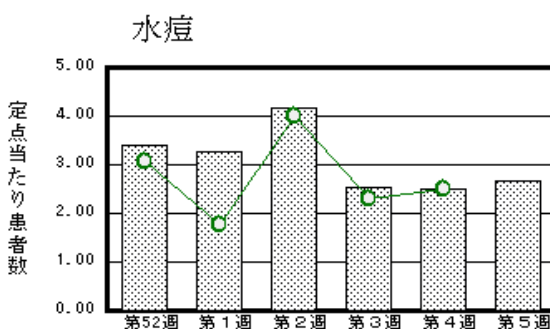
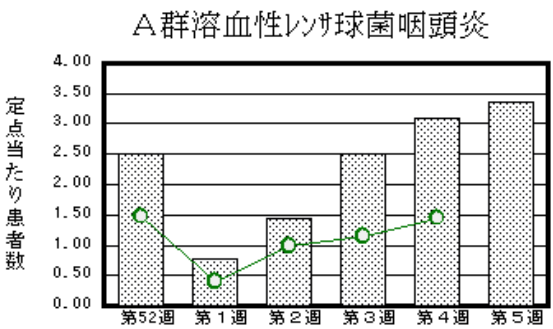
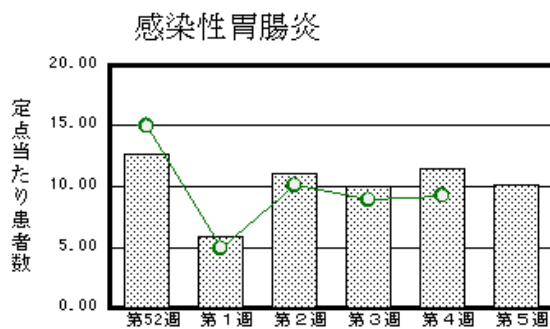
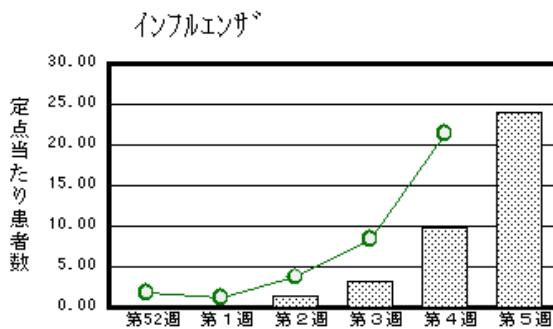
発行: 福井県福祉環境部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 インフルエンザ765名(23.9名) 感染性胃腸炎224名(10.2名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎74名(3.4名) 水痘59名(2.7名) 伝染性紅斑34名(1.6名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 インフルエンザ(765名) 感染性胃腸炎(224名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(74名) 水痘(59名) 伝染性紅斑(34名) 咽頭結膜熱(13名) 突発性発疹(12名) 手足口病(8名)
3. 【インフルエンザ】報告数が倍増しました。(311名 765名)。定点あたり患者報告数でみると丹南地区32.0名、奥越地区が32.0名となっています。流行拡大防止のための警戒が必要です。平年(過去5年間の同時期)並みの発生ですが、他の地域も、今後注意が必要です。
4. 【感染性胃腸炎】報告数が減少しました。(253名 224名)定点あたり患者報告数は福井地区16.0名、坂井地区14.0名、丹南地区9.4名、の順になっています。
5. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数が増加しました(68名 74名)。福井地区で定点あたり4.86名と県内トップとなっており、続く丹南地区4.0名となっています。平年と比べて報告数が多くなっています。
6. 【水痘】報告数がわずかに増加しました。(55名 59名)丹南地区で定点あたり4.2名、福井地区で3.4名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第3週号(1月12日~1月18日)要点

発生動向総覧	<第3週> インフルエンザの定点当たり報告数は増加した / その他最新動向 <12月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
注目すべき感染症	<インフルエンザ> 第3週の定点当たり報告数は8.44であり、多くの都道府県でインフルエンの流行シーズンに突入した
病原体情報	患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス2003/04シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2003/04シーズン
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	ベトナムでの鳥インフルエンザ / タイでの鳥インフルエンザ
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

今週は報告はありません。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成16年 第5週 平成16年1月26日(月)～平成16年2月1日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(4週)
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	243 22.09	60 20.00	92 23	18 6	96 32	256 32	765 23.91	311 9.72	100849 21.44
小児科 (22)	RSウイルス感染症	2 0.29						2 0.09	1 0.05	599
	咽頭結膜熱	6 0.86	1 0.33	3 1	1 0.5		2 0.4	13 0.59	7 0.32	527 0.17
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34 4.86	7 2.33	4 1.33	1 0.5	8 4	20 4	74 3.36	68 3.09	4414 1.45
	感染性胃腸炎	112 16.00	42 14.00	11 3.67	1 0.5	11 5.5	47 9.4	224 10.18	253 11.5	28101 9.25
	水痘	24 3.43	2 0.67	5 1.67	2 1	5 2.5	21 4.2	59 2.68	55 2.5	7612 2.50
	手足口病	2 0.29				4 2		6 0.27	11 0.5	237 0.08
	伝染性紅斑	22 3.14			2 1		10 2	34 1.55	27 1.23	1091 0.36
	突発性発しん	4 0.57		1 0.33		3 1.5	4 0.8	12 0.55	10 0.45	1999 0.66
	百日咳									32 0.01
	風しん									32 0.01
	ヘルパンギーナ									67 0.02
	麻しん(成人麻しんを除く)								1 0.05	34 0.01
	流行性耳下腺炎			1 0.33			1 0.2	2 0.09	5 0.23	1072 0.35
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									11 0.02
	流行性角結膜炎	1 0.50						1 0.33	4 1.33	491 0.77
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									10 0.02
	無菌性髄膜炎								1 0.17	9 0.02
	マイコプラズマ肺炎									105 0.22
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									1 0.00
	成人麻しん									0

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第3週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成16年第5週 平成16年1月26日(月)～平成16年2月1日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性 鳥インフル エンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満	3	6ヶ月未満	2			2				1						6ヶ月未満								
12ヶ月未満	16	12ヶ月未満				12	2	1		7						12ヶ月未満								
1歳	27	1歳			1	21	14	2	2	4						1歳								
2歳	38	2歳		3	4	23	12	1	1							2歳								
3歳	41	3歳			8	29	9	1	2							3歳								
4歳	38	4歳		5	10	14	13		5							4歳								
5歳	31	5歳			11	22	7		11							5歳								
6歳	35	6歳		1	13	11	1	1	4							6歳								
7歳	29	7歳		2	11	7			3							7歳								
8歳	39	8歳			9	20			1							8歳								
9歳	36	9歳		1	4	13									1	9歳								
10～14歳	178	10～14歳		1	3	30	1		2						1	10～14歳								
15～19歳	106	15～19歳				6			1							15～19歳								
20～29歳	30	20歳以上				14			2							20～29歳								
30～39歳	39															30～39歳								
40～49歳	35															40～49歳								
50～59歳	28															50～59歳								
60～69歳	7															60～69歳								
70～79歳	9															70歳以上		1						
80歳以上																								
合計	765	合計	2	13	74	224	59	6	34	12					2	合計		1						
前期計	311	前期計	1	7	68	253	55	11	27	10				1	5	前期計		4			1			
当期間/前期	2.46	当期間/前期	2	1.86	1.09	0.89	1.07	0.55	1.26	1.2	***	***	***	0	0.4	当期間/前期	***	0.25	***	0	***	***	***	
増減数	454	増減数	1	6	6	-29	4	-5	7	2				-1	-3	増減数		-3		-1				

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき